

私たちは、地域住民の心と身体を健康をささえる病院として
「こころのふれあい」を大切に、安心と満足、信頼を得られる医療を行ないます。

八幡青樹会病院 季刊広報誌

平成18年1月1日 発行
発行責任者 広報委員会
地域連携室

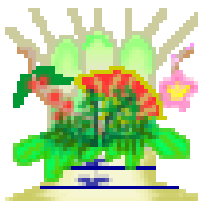
連絡先 医療社会事業課 0748-33-7104

青葉の風

第7号

新年あけましておめでとうございます。八幡青樹会病院の季刊広報誌「青葉の風」第7号をお届けいたします。寒い毎日が続いていますが、今回の広報誌「青葉の風」も、暖かな話題、元気の出る話題を中心に、たっぷりお届けいたします。今年も皆様にとっていい年になるようにお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、希望に満ちた2006年の新しいお年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。昨年はお蔭様で財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の認証を受けることができ、良質で安全な医療の提供体制が第三者機関によりご確認いただけました。

今年も当院の理念に基づいた地域の皆様にご満足いただける病院を目指し、職員全員が一丸となって取り組み続ける所存でございます。本年も変わらぬご支援、ご鞭撻の程よろしくお祈り申し上げます。

財団法人青樹会 八幡青樹会病院 院長 由利 和雄

職員 一同

～ 八幡青樹会病院ニュース ～



当院野球部が京都新聞大賞スポーツ賞を受賞



平成17年11月28日、当院野球部に対し京都新聞社から、平成17年度新聞大賞スポーツ賞が授与されました。これは日頃の野球部活動や、実績が高く評価されたもので授賞式の当日は野球部全員が出席し、京都新聞社社長より賞状が野球部を代表して二国監督に手渡されました。今年天皇賜杯第61回全国軟式野球大会が滋賀県で行なわれ、既に当院野球部はその出場権を獲得しております。今後の活躍に本年も皆様の熱いご声援をよろしくお祈り申し上げます。



歩きました！ 30キロ

今年も恒例の30^キウォークが当院教育委員会の主催で秋晴れに恵まれた10月30日に行なわれました。新就職者と引率あわせて28名が朝9時に病院を出発、夕方5時前に帰院、今年も全員が完歩しました。今年も戦国街道を安土城跡から西ノ湖に向かい、能登川水車とカヌーランドでお昼になり、お弁当を広げました。お昼からはそれぞれゴミ袋を持ちながら、遊歩道の周囲のゴミ拾いをしながら帰りました。



八幡青樹会病院の作業療法室の紹介です。

作業療法士 小柳 智美



作業療法室では精神疾患によって生活に障害をもった方々に対し、作業活動（遊びや創作的なものから日常生活に関連するものまで）を利用して、指導や援助を行ないます。患者様がよりよい生活を送れるように、症状の安定、対人関係の改善、基本的な日常生活や社会生活能力の獲得・回復に向けて援助を行なっています。スタッフは作業療法士3名、生活指導員4名です。患者様は1日約60名で年齢は幅広く20歳代から90歳代の方までおられます。作業療法士と患者様とで相談し、症状にあわせて参加の目標を立て、1週間のプログラムを決めています。プログラム

には個人活動（編物や裁縫、籐細工など）と、集団活動（調理実習やスポーツ、音楽活動）などがあります。

精神保健福祉にまつわる Q & A

質問 : デイケアの活動内容や、利用する際に心がけておいたほうがいいことについて教えてください。

デイケアとは精神科病院や精神科のクリニック、精神保健福祉センターで行なわれている社会復帰援助活動のひとつです。地域や他の人と接する機会が少なく、生活の幅を広げていきにくくなっている人に対して日中行なわれている集団活動の場がデイケアです。デイケアではレクリエーション、スポーツ、料理、話合い、創作活動、楽器演奏、英会話など、幅広い活動が行なわれています。活動内容は、利用者の主体的な参加が尊重されるよう、利用者スタッフの話合いで決められます。また、利用目的や利用期間については、デイケアが社会復帰活動のステップとして有効に働くよう、主治医やスタッフとの話合いのなかで進められます。

なおデイケアの費用については、外来診療の扱いになりますので、例えば国民健康保険の本人・家族の場合自己負担は3割ですが、精神科通院医療費公費負担制度を利用すると、5%になります。(当院の場合、昼食込みで5%負担の場合330円になります。ただし4月から改訂になる場合がありますのでご注意ください。)

ところで、あなたは世界のタバコ価格と税率(%)をご存知ですか？

1箱あたり 英国 585 円(86%)、フランス 316 円(76%)、米国 459 円(40%)、スウェーデン 455 円(70%)、日本 258 円(60%) etc タバコ税による価格管理は若者の喫煙を減らす効果的な手段であるといわれています。WHOは「タバコ税引き上げで価格が一割上がれば世界で約4200万人がタバコをやめ、約1000万人がタバコに関連した病気で死なずに済む」と指摘しています。日本では、2006年度税制改正でのタバコ税の引き上げは見送る方向で検討に入りましたが、今後も喫煙率の低減や未成年者の喫煙防止に効果的且つ重要な手段として税制改正の見直し対象とされるでしょう。またこの際、税制改正による価格値上げは、1箱200円程度の引き上げが必要とされるそうです。1箱(20本)約550円もする高価なタバコ、1日20本吸う喫煙者にとっては、かなりのダメージになるでしょう。そんな時代が来る前に、今から禁煙を試みてはどうでしょう？

衛生管理者 平野 香澄

こころのエッセイ

八幡青樹会病院 看護副部長 三好喜美子

我が家の犬、ムーはミニのブルテリアである。生まれて50日で我が家族になり、3歳6ヶ月で虹の橋に行った。走ることが大好きで、食べることが大好きで、何よりも人が大好きだった。特に若い女性には飛び切り愛想が良かった。信号待ちの車の中から対向車に見える若い女性と仔犬にラブコールを送り、窓に激突、自慢の鼻を一週間も腫れあがらせたこともある。ボールに向かってまっしぐらに野原を走る姿は実に爽快であった。そんな青春の真っ只中、今年の7月にムーの首のリンパ節が腫れているのに気がついた。診断の結果は悪性リンパ腫。それからの1年間、抗ガン剤の治療を受けながら精一杯生きた。お腹に水が溜まり、今にも止まりそうな呼吸をしながらも「ムー」と呼んで上げるとじっと私の顔を見つめてくれた。そして私の腕の中で静かに眼を閉じた。限りないとおしさのなかで、私たち家族の心に「愛するエネルギー」を残してくれたムーは今、虹の橋を渡りしっぽを振りながら今も私たちを天から見つめてくれている。



あとがき

大雪が降りました。子どもの頃は雪が降ると大はしゃぎしていたのに、大人になって雪と聞くと、交通機関の乱れや車の事故などが想像されたりしてなんとなく嫌になってしまいます。でもあまりにおおきなボタン雪なので、久しぶりに手袋についた雪を虫めがねで眺めてみることにしました。眺めてみるとボタン雪は六角形の雪の結晶がお互いに絡みあってひとつの大きな雪になっていることがわかります。六角形のひとつひとつは一番最初にできたものなのでしょう。それが雪雲のなかで絡み合うのか、空から降ってくる間に絡み合って大きくなるのかわかりません。とてもきれいで光が当たると虹色にキラキラ輝きます。でも感激して息がかかったとたん、すぐにとけて消えてしまいました。まだまだ寒い日が続きますが、一度虫メガネで雪の世界を覗いて見てはいかがですか？

編集室

